

けつじょうみみかざり  
玦状耳飾が出土！



出土した玦状耳飾（左下部分は欠損）

空畑遺跡で玦状耳飾（けつじょうみみかざり）が出土しました。

玦状耳飾は石で作られた装身具の一種です。左下の部分は欠損していますが、本来はドーナツ形の円盤に切目が一箇所入る「C」字を下に向けたような形をしています。古代中国の玉器（ぎょくき）「玦（けつ）」に似た形をしていることからこの名でよばれています。2個セットでみつかると例があり、耳たぶに穴を開けて通すタイプの耳飾りであると考えられています。

玦状耳飾は縄文時代早期末頃から出現し、前期になると全国的に広まり、中期の中頃にはみられなくなります。県内では約20点ほどみつかっていますが、ほとんどは表面採集によるもので発掘調査で出土したものは今回のものをいれて6点目となります。

使われている石材は重量感があり、全体的な色は光を通す濃いオリーブ色で部分的に白色のところもあります。石材については今後、科学分析による同定を行う予定です。

<問い合わせ先>

〒511-0415 いなべ市北勢町東貝野454番地

三重県埋蔵文化財センター 調査研究4課 いなべ整理所 担当者：勝山孝文・松永達也

電話番号：0594-72-8955 FAX：0594-72-8970 e-mail：maibun@pref.mie.lg.jp